

調布市平和展

戦争による被害の実相や次代を担う子どもたちの平和への想いなど、様々な角度から戦争・平和について学び、考える機会とするため「平和展」を開催します。

令和6年
8月6日(火)～12日(月・振休)
午前10時～午後6時 入場無料

文化会館たづくり2階 南ギャラリー

主催/調布市 協力/調布市原爆被害者の会(調友会)
展示物所蔵/ 調布市郷土博物館
(公財)長崎平和推進協会
日本非核宣言自治体協議会
ピースおおさか大阪国際平和センター
広島平和記念資料館
平和首長会議

戦争の実相を知る



広島や長崎、大阪等から借用した戦争の悲惨さを伝える貴重な資料のほか、郷土博物館の戦争資料を展示します。

戦争体験を伝える資料
(提供/調布市郷土博物館)

記憶・想いをつなぐ



広島の高中生と被爆者との共同制作による「原爆の絵」の展示や、被爆体験に関する講話を実施します。

●被爆体験者講話
8月12日(月・振休)
午前11時～正午

「空襲警報が鳴る中、学校から泣きながら家へ帰る」
作/小倉桂子(被爆体験表現者)・石原晴香(69回生2年次)
所蔵/広島平和記念資料館

調布市の平和に向けた取組



(ピースメッセンジャー2023)

ピースメッセンジャーの取組についての展示や、折り鶴プロジェクト、調布市の平和都市宣言等、調布市の平和に向けた取組について展示します。



世界中の平和への想い



令和5年度 6歳～10歳の部
平和首長会議会長賞/最優秀賞
末光 雛さん



令和5年度 6歳～10歳の部
優秀賞 サバ・セイダングルーさん

提供/平和首長会議

平和首長会議が加盟都市の子どもたちを対象に実施する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」における世界の入賞作品を展示します。

【問い合わせ】調布市生活文化スポーツ部文化生涯学習課 電話 042-481-7139

令和6年度 ピース・レター ちょうふ

ピース・レターちょうふは、調布市の平和に関するイベントや取組をまとめた情報誌です

“みんなで考えよう 平和”

調布市では、昭和58年9月27日に市議会が「調布市非核平和都市宣言」を、平成2年3月23日に市が「調布市国際交流平和都市宣言」をしています。また、平成22年8月1日に平和市長会議(現:平和首長会議)、令和3年4月1日に「日本非核宣言自治体協議会」へ加入しました。市で実施する様々な平和祈念事業に参加することで、平和について一緒に考えてみませんか。



調布市非核平和都市宣言



調布市国際交流平和都市宣言

調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2024

“私にとっての平和”をテーマに絵を描いてみよう

平和首長会議は、世界166か国・地域の8,300を超える都市が加盟しており、全加盟都市の子どもたちを対象とした「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2024」を実施し、作品を募集します。

調布市では、市内在住・在学の子どもたちを対象に「調布っ子“平和なまち”絵画コンテスト2024」を実施し、平和首長会議へ応募する作品を募集します。



令和5年度 6歳～10歳の部
調布市長賞
白井美奈さん

募集要項 ※詳細は市HPをご覧ください。

1 募集部門

- 「6歳～10歳の部」
 - 「11歳～15歳の部」
- 調布市長賞、調布市議会議長賞、調布市教育長賞、調布市文化・コミュニティ振興財団理事長賞を1点ずつ選定し、表彰します。表彰された作品を平和首長会議へ提出します。

2 応募方法

“私にとっての平和”をテーマにした絵画作品と一緒に申込書(作品に込めた思い等を記載)を市役所8階文化生涯学習課へ郵送または持参で提出してください。
申込書は市HPからダウンロードできます。
応募先: 〒182-8511 調布市小島町2-35-1
調布市文化生涯学習課 「平和なまち絵画コンテスト」担当

3 募集期間

7月8日(月)～9月30日(月)(必着)

4 留意事項

- 絵画の大きさはB4(257×364ミリ)、八つ切り又はA3(297×420ミリ)のサイズで、白色の画用紙とし、使用する画材は自由。
- 応募は一人一点まで。
- 著作権(アニメキャラクターなどを含んだ作品)、商標権、肖像権など第三者の権利を侵害しないものであること。
- 赤十字の標章や、それに類する標章等が描かれていないこと
- 市に提出された応募作品の著作権・使用权は市及び平和首長会議に帰属します。また、応募作品は、市及び平和首長会議のホームページ等で当該作品の画像のほか、作者の氏名・年齢・住んでいる国名・都市名・作品に込めた思いを公表する場合があります。
- その他留意事項については市HPをご確認ください。

5 お問い合わせ

調布市文化生涯学習課 Tel: 481-7139
詳細について、また、申込書のダウンロードはこちらの市HPから



発行/調布市 編集/生活文化スポーツ部文化生涯学習課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1 Tel: 042-481-7139 Mail: bunsin@city.chofu.lg.jp

発行日/令和6年7月

市内の平和イベント

文化会館たづくり

調布市平和展

8月6日(火)～12日(月・振休)

詳細はピースレター裏面へ(担当:文化生涯学習課)

中央図書館

平和祈念「図書展」

7月24日(水)～9月23日(月・振休)

図書館では毎年、戦争体験記や戦争に関する図書の展示と貸出をしています。



昨年度の様子

平和祈念公開「読書会」

①8月1日(木)午前10時～正午

公開緑陰(りょくいん)読書会
『長い時間をかけた人間の経験』林京子 著

②8月22日(木)午後6時30分～8時

公開納涼(のうりよう)読書会
『明日 ―一九四五年八月八日・長崎―』井上光晴 著

会場:①、②共に文化会館たづくり6階602会議室

※事前申し込みが必要です。申し込みについては市報7月5号をご覧ください。

西部公民館

平和フェスティバル・講演と音楽のひととき 『平和の種をにぎりしめて』の著者 山花郁子さんとともに考える平和

8月10日(土)午後1時30分～3時45分

講演と中学生のダンスと弦楽アンサンブル演奏
講師:山花郁子氏(児童文学者)
演奏:飯吉真子ファミリー
(ベルリン在住・弦楽アンサンブル)

会場:西部公民館ロビー

※事前申し込みが必要です。申し込みについては市報7月5号をご覧ください。



山花郁子



過去のフェスティバルの様子

※各イベントについて、詳細は市報もしくは市ホームページをご覧ください。内容が変更となる場合があります。

北部公民館

北の杜PEACE FOR ～市民が作った『東京大空襲』紙芝居と詩の朗読

7月20日(土) 午前11時～正午

調布自分史の会が制作した紙芝居を朗読の会トルヴェールが新たな形で表現します。戦時中の生活雑貨の資料も展示解説します。子どもから大人までいっしょにご鑑賞ください。

会場:北部公民館第3学習室

※事前申し込みが必要です。申し込みについては市報7月5号をご覧ください。



調布自分史の会制作紙芝居『東京大空襲』

郷土博物館

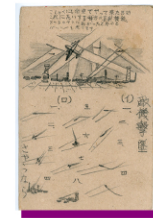
ギャラリー展 「神代村の疎開児童 ～先生へあてた手紙～」

7月20日(土)～9月23日(月・振休) 午前9時～午後4時
休館日:月曜(祝日の場合は翌平日)
会場:郷土博物館2階ギャラリー

今から80年前の昭和19(1944)年、赤坂区(現在の港区)の学校から神代村(現在の調布市)に疎開児童がやって来ました。児童が生活や空襲の様子を書き記し、軍に召集された学校の先生に送った手紙を展示します。



80年前の調布



疎開児童の手紙

平和に向けた取組

ちょうふピースメッセンジャー

市民の代表"ピースメッセンジャー"として、市内の中学生を被爆地に派遣し、その後、平和の想いを拡げていきます。令和6年度は長崎に派遣します。



ピースメッセンジャー2023

ちょうふピースメッセンジャージュニア

FC東京の夏のアウェイゲーム開催にあわせて、市内の小学生を"ピースメッセンジャージュニア"として派遣し、各地にのこる戦跡巡りなど平和学習を行います。令和6年度は広島に派遣します。



ピースメッセンジャージュニア2023

主催/調布市・FC東京
協力/株式会社渋谷不動産エージェンツ

ちょうふピース部

これまでに任命されたピースメッセンジャーたちが、派遣された年度以降も継続的に活動ができるよう、令和5年度に「ちょうふピース部」を立ち上げ、活動が始まりました。



ちょうふピース部

調布市国際交流平和基金

国際交流事業及び平和事業を進めるため、基金を設置しています。寄附に御協力いただける場合は、文化生涯学習課にご連絡ください(☎481-7139)。

【令和6年度の基金充当事業(予定)】

- ・ピース・レターちょうふの発行
- ・平和派遣事業の実施
- ・ピースメッセンジャーの活動 など

防災行政無線による黙とうの呼びかけ

防災行政無線で「黙とう」を呼びかけます。呼びかけは、令和6年度ピースメッセンジャーの声で行います。※緊急災害発生時等には中止する場合があります。ご了承ください。

- 8月6日(火) 午前8時15分～ 広島原爆投下時刻
- 8月9日(金) 午前11時2分～ 長崎原爆投下時刻
- 8月15日(木) 正午～ 終戦記念日
- 3月10日(月) 午後2時～ 東京都平和の日

日本非核宣言自治体協議会「親子記者事業」

市が加盟している日本非核宣言自治体協議会が、会員自治体の小学生とその保護者を長崎市に招待し、現地での取材等を通して「おやこ新聞」を作成します。

募集時期:例年4月頃
実施主体:日本非核宣言自治体協議会(長崎市平和推進課内)

施設紹介



市内には戦争や平和について学べる施設があります



1 平和の塔 ☎ 481-7101, 7102(福祉総務課)

市役所の前庭に、戦争で亡くなられた方々のご冥福(めいふく)を祈り、平和の誓いを込めて建てられた「平和の塔」があります。また、今日の平和が永遠に続くことを願い、平和祈念祭を毎年実施しています。



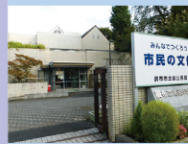
2 東部公民館 ☎ 03-3309-4505

京王線仙川駅徒歩8分、桐朋学園の南西にあります。平和を守り続ける大切さを学び、考える事業として、例年、戦争体験をお聞きする講座、講演会、平和関連展示、映画会、見学会などを実施しています。



3 西部公民館 ☎ 484-2531

飛田給小学校の近くにあり1階は西部児童館です。広いロビーでは、平和についての講演とミニコンサート、さらに地元の中生にも参加を呼びかけて「平和フェスティバル」を実施しています。また、水木しげる氏作「総員玉碎せよ!!」「コミック昭和史」などの貸し出しもしています。



4 北部公民館 ☎ 488-2698

神代中学校、上ノ原小学校の近くにあり。幅広い世代の市民とともに様々な視点で過去の戦争や今ある平和について考えるための事業として、講座や講演会、フィールドワーク、関連展示など開催しています。



5 中央図書館 ☎ 441-6181

市内には11の図書館があります。全館で戦争や平和に関する図書を所蔵しています。中央図書館では、平和祈念図書展示も毎年行っています。



6 郷土博物館 ☎ 481-7656

郷土の歴史や文化、自然、美術に関する資料を収集・保管し、さまざまなテーマの展示・イベントを行っています。戦時中の暮らしや空襲に関する収蔵資料を常設展示やギャラリー展示などで紹介しています。※7月19日(金)まで臨時休館。常設展示室は11月18日(月)まで休室し、11月19日(火)から内容を新たに再開します。



A 市役所前庭の平和都市宣言パネル

「調布市非核平和都市宣言」、「調布市民憲章」、「調布市国際交流平和都市宣言」を掲載したパネルを市役所前庭に設置しています。外国の方にも読んでいただけるよう英文でも表記しています。



B グリーンホール壁面の平和都市宣言パネル

令和元年度に「調布市非核平和都市宣言」、「調布市国際交流平和都市宣言」を掲載したパネルをリニューアルし展示しています。



C 掩体壕(えんたいごう)

調布飛行場は陸軍が使用したため、戦争中は何度も空襲にありました。掩体壕は戦争中に戦闘機を空襲から守るための施設です。コンクリートで天井を覆ったものや、天井のないものも作られました。都立武蔵野の森公園内に掩体壕が残されており、実際に見ることができます。